

平成 30 年度第 1 回帯広市地域公共交通活性化協議会 議事録

日 時：平成 30 年 6 月 5 日（火）午前 9 時 30 分～午前 10 時 20 分
場 所：帯広市役所 10 階第 5 B 会議室
出 欠：出席 18 名、欠席 1 名 事務局 4 名

1. 開会

(吉田事務局長)

ただ今から、「平成 30 年度第 1 回帯広市地域公共交通活性化協議会」を開催します。
開会にあたり、本協議会の会長、相澤よりご挨拶致します。

(相澤会長)

相澤でございます。本日は、お忙しい中お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。
また、日頃より本市の交通行政にご協力いただきまして、この場をお借りして改めて御礼を申し上げます。

さて、昨年 3 月に策定いたしました「帯広市地域公共交通網形成計画」に基づきまして、昨年度の利用者の利便性向上や利用促進に係る様々な取り組みをバス事業者様とともに、実施してきたところでございます。

おかげさまで持ちまして、先月 25 日には帯広駅前のバス待合所が「バスターミナルおびくる」として新たにリニューアルオープンし、人の流れが生まれ、バス等を始めとする公共交通の活性化に寄与することを期待しているところでございます。

今年度は 11 月に予定されております「帯広厚生病院の移転・開院」に向けた主要系統の路線、ダイヤ見直しというものが控えてございまして、それに伴う交通の利便化が予想されております。本市といたしましては、網形成計画に基づき、路線の見直しを始めとする各施策を進め、市民や来帯者にとって利用しやすい、持続可能な公共交通を目指して参りたいと考えているところでございます。取り組みの実施にあたりましては、委員の皆様を始め、関係各位との十分な協議、調整をさせていただきながら、進めてまいりたいと考えてございますので、ご協力よろしくお願い申し上げます。

本日は昨年度実施いたしました取り組みを振り返り、そして、今年度の取り組みについて協議させていただきますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

(吉田事務局長)

本日は委員 19 名中 18 名のご出席をいただいております。規約第 6 条第 2 項による過半数の出席がありますことから、本日の会議が成立しておりますことをご報告致します。

今年度から新たに 2 名の方に、協議会の委員として参加いただいておりますのでご紹介させていただきます。

まず、帯広開発建設部 道路計画課 課長の西山様ですが、本日は代理で川村上席道路計画専門官にご出席いただいております。

もうお一方、帯広警察署 交通第一課 課長の高木様です。

(吉田事務局長)

それでは、今後の議事進行は、規約第 6 条第 1 項に基づき、会長が行います。よろしくお願い致します。

2. 議事

(相澤会長)

それでは早速、議事に入ります。報告事項「(1) 平成 29 年度事業報告」、「(2) 平

成 29 年度決算報告」について、事務局より説明願います。

(事務局)

《資料2》平成 29 年度事業報告、《資料3》平成 29 年度収支決算書の説明》

(相澤会長)

続きまして、報告事項「(3) 平成 29 年度監査報告」について、監査委員の小林様の代理であります松田様からご報告をお願いいたします。

(十勝総合振興局 松田様)

《資料4》平成 29 年度会計監査報告》

(相澤会長)

ありがとうございました。ただ今の報告につきまして、ご意見、ご質問等はございますでしょうか。

《意見無し》

特になければ、報告事項は以上といたします。

次に協議事項に移ります。まず「(1) 帯広市地域公共交通網形成計画に基づく平成 29 年度の事業の実施状況」について事務局より説明致します。

(事務局)

帯広市地域公共交通網形成計画に基づく施策の平成 29 年度の実施状況について、ご説明いたします。資料5をご覧ください。

計画では4つの基本方針を掲げており、それにもとづく施策の実施状況について、ポイントのみ説明させていただきます。

まず、基本方針(1)「公共交通のサービスレベルの向上のための施策」といたしまして、バス路線及びダイヤの見直しをはじめ、記載の5項目について取組みを実施しております。

特に、「3. バス待合環境の改善に向けた取組み」として、小売事業者の協力を得て店内にバス待合スペースを設置したほか、「4. 帯広駅バスターミナル待合所の老朽化対策」として、従来の駅前バス待合所を解体し、バス待合・乗車券販売のほか、アウトドア観光を中心とした観光情報を発信する新施設「バスターミナルおびくる」を整備し、待合環境の改善、利便性向上を図りました。また、「5. ICカードシステム導入に向けた実証試験の検討」に関しては、十勝バスにおいて、商業系電子マネー「WAONカード」を利用した運賃決済システムの実証試験に向け、協議を実施したところです。こちらについては、平成30年度の取り組みのところで改めてご説明いたします。

続きまして、2ページ目、基本方針(2)「生活と交通の拠点の整備」に関する施策として、3項目について、記載のとおり実施しております。

「2. デマンド型交通の利便性向上」として、農村部のあいのりタクシー・あいのりバスに関して、平成29年10月にインターネット予約サイトの運用を開始しております。

次に、基本方針(3)「市民だけでなく、来街者にも分かりやすい情報提供の実施」

の6項目の施策について、記載のとおり実施しております。

当協議会にて「おびひろバスマップ」を更新したほか、拓殖バス様において昨年4月にエリアごとに色分けされた時刻表の作成を実施しております。

また、外国人観光客向けの案内整備として、十勝バス、拓殖バス両社において、多言語対応のバス停の整備を進めました。

次に、基本方針（4）「利用促進施策の推進」について、小学生から高齢者までのモビリティ・マネジメント施策を実施しております。これまで継続してまいりました、小学生や高齢者への出前講座を引き続き実施したほか、事業報告でも説明させていただきました、中高生向け・市内転入者向けの小冊子を作成、配布しております。

なお、これらの小冊子については、一層のバス利用促進を目的として、「おびひろバスマップ」と併せて配布しているところでございます。

続きまして、資料6をご覧ください。計画の評価指標の現時点での達成状況について、でございます。

各基本方針に対応する7指標のうち、「(1) 路線バス利用者数」、「(3) あいのりタクシー・バス年間利用者数」、「(4) バスパック年間利用者数」、「(7) ノーカーダー参加者数」の各指標について、実績値が目標値を上回り、順調に推移しております。

「(2) 通学定期券年間販売数」は、年度における高校生の通学定期券の延べ購入人数について表しているものでございますが、平成29年度目標値1万2千230人に対し、実績値1万884人と下回っております。これは、平成27年の十勝管内高校生総数が約9,100人であったのに対し、平成29年度は約8,800人と減少していることが目標未達成の主な要因として考えられます。

また、「(5) バスロケーションシステムの外国語表示閲覧数」については、平成29年度目標値1,800ビューに対し、実績値1,130ビューとなっております。これは、バスロケーションシステムがまだ完全ではなく試行錯誤の段階にあるため、十分普及が進んでいないものと考えられます。

「(6) 高齢者おでかけサポートバス年間利用者数」については、平成29年度目標値96万4千385人に対し実績値94万2千181人と、目標未達成となっております。これは、原因について一概には言えないところではございますが、一因として、冬の間の降雪が平成27年度と比較して多かったことから、高齢者のバスによる外出控えなどがあったことが考えられるところです。

続きまして、資料7につきましては、計画に係る事業スケジュールと進捗状況の一覧表となっております。内容については記載のとおりとなっております。

平成29年度の計画に基づく事業の実施状況について、説明は以上でございます。

(相澤会長)

ただいまの説明につきまして、バス事業者様から補足説明がございましたらお願いをいたします。

(十勝バス 長沢本部長)

概ね資料に記載のとおりですが、最後の資料6の数字もなかなか出しづらい点もあって、定期券の利用人数も、1か月・2か月・3か月定期といろいろある中で、販売枚数ベースで集計しているため、1か月定期3枚だと3件、3ヶ月定期1枚だと1件にと、その辺が若干影響している部分があったり、学生数の減少も含めて影響がある

かなと考えています。高齢者の利用者数については、平成 29 年度は前年度と比べると目標値は達成していませんが、増加傾向にはあって、今年度も 4、5 月は前年比で行くと 5～6% くらい増える見込みで、このまま増えていくのかなというところです。

IC カードの関係では、実験的に西地区コミュニティバスで始めたばかりで、均一運賃区間なので、比較的スタートとしてはやりやすかったのではないかと思います。今後、秋口に向けて、多区間運賃路線のほうで、周知と実験を 2 路線程度やっていく計画でございます。

(相澤会長)

ありがとうございます。

拓殖バス様は今年の網形成計画に係る取り組みの中で、事務局から売上も含めて説明いたしました。補足する部分があればお願いいたします。例えば、拓殖バス様にはわかりやすい時刻表の作成を行っていただいたのですが、その辺の関係や、そして、資料 6 の指標達成に関しての何かご感想をお持ちであればお願いします。

(拓殖バス 小森部長)

私ども、時刻表については数年前から取り組んでおりまして、お客様からもわかりやすいという声もいただいているところでございます。今後、観光客も含めた外国人が理解できるものも必要となってきたり時期かなと感じておりますので、そういったところも停留所を含めて取り組んでいきたいと思っております。

また、指標については、高齢者利用者数が毎年、大体十勝バス様と同じ流れで来ていたんですけども、昨年度については、十勝バスさんは若干上向き傾向にあったんですけども、弊社の路線については若干減少していたという結果が出ておりますので、この辺の原因や、私たちの PR が悪かったのかとか、その辺の反省も含めて今後、乗車率が上がるような取り組みをしていきたいと考えております。以上です。

(相澤会長)

ありがとうございます。ただいまの補足説明等含めて皆様からご意見、ご質問等はございませんでしょうか。

《意見・質問なし》

それでは、続きまして、平成 30 年度の網形成計画に基づく施策の推進案について事務局より説明致します。

なお、今年度の重要施策であります、市内バス路線及びダイヤの見直しにつきまして、事務局から概要説明後、十勝バス様、拓殖バス様より変更に係る進捗状況の補足説明をお願いいたします。

(事務局)

それでは、まず、事務局から説明させていただきます。

網形成計画に基づく事業の平成 30 年度推進案について、はじめに、資料 8 の 1 ページ目、市内バス路線及びダイヤ見直しについて説明させていただきます。

十勝バス様において、資料記載のとおり 4 系統の路線・ダイヤの見直しを実施、検討するほか、平成 30 年 11 月に予定されております帯広厚生病院の移転に伴い、十勝バス様、拓殖バス様の各路線、及びあいのりタクシー・バスについて路線変更を検討、実施いたします。

十勝バス様の路線については、白樺通を經由する芽室線、帯広・陸別線、幕別線、東西循環線と、西地区コミュニティバスについて、厚生病院構内への入り込みを実施予定でございます。また、現在の厚生病院前のバス停を經由する路線について、移転後跡地の土地利用の状況により、経路変更を実施するかどうかの判断をするものです。

次に、拓殖バス様の路線について、十勝バス様の路線と同様、現在の厚生病院を經由する各路線の経路変更を実施するかどうか、移転後跡地の利用状況により判断するものです。また、新厚生病院前を通過する拓殖バス様の路線は現在ございませんが、移転後の路線対応については、利用客の利便性を考慮した対応を検討するものです。

最後に、あいのりタクシー・あいのりバスにつきまして、新病院の開院に合わせて、市内経路の起終点を現病院前から新病院前へと延伸する予定となっております。

帯広厚生病院の移転に伴う路線変更等について、事務局からは以上でございます。

(相澤会長)

ただいまの厚生病院の移転に伴う路線見直しについて補足説明があればお願いいたします。まずは、十勝バス 長沢本部長様、お願いいたします。

(十勝バス 長沢本部長)

競馬場通の系統については、病院内への入り込みということで考えております。その他の路線については、現在は中心部にあるということで、「厚生病院東口」、もしくは「厚生病院前」のいずれかの停留所で降りられることとなっております。

現在、他の路線も直接こちら側へ入れるとなると、当然経路変更が伴いますので、一部空白地域が出てしまうということや、路線の効率化や運行時間など色々な問題がありますので、当社としては駅前でお乗換えをしていただいて、競馬場通に出る系統は1時間に4、5本程度ございますので、今まで厚生病院に通っていた方については、乗り換えてご利用いただければと考えています。

ただ、乗り換えたときに、今の運賃制度では、乗り換えによる運賃がダブってしまうことがあるので、そこは課題として、乗り継ぎ割引についても検討していかなければと考えております。厚生病院の関係の部分についての考え方は以上でございます。

(相澤会長)

続きまして、拓殖バス小森部長様、お願いいたします。

(北海道拓殖バス 小森部長)

弊社につきましては、こちらに書いてあるとおり、中鈴蘭循環線、南商業高校線の一部と、療養所線、帯広の森線などが、現行の厚生病院の前を通過して運行しているところでございます。

厚生病院がなくなってしまうということで、当初の計画では、今のこの路線を別の系統として変更していこうという考え方で打ち合わせしていたところですが、今後の跡地の使い方や、迂回しても1丁変わるかどうかということであれば、現行のままでの運行も考えられるところで、だんだん時間が迫ってきているところではありますけれども、最終的な判断を間もなくさせていただこうというところでもあります。

それと、弊社の便についても、今後厚生病院に行くお客様に関しては、十勝バスさんの路線に乗り換えをして病院に通っていただくこととなりますので、このあたりの運賃の問題だとかもこれから出てくると思います。あと、今後の都市計画、道路計画によっても、今年度はないにしても、老朽化によっては変更していく可能性もあります。以上です。

(相澤会長)

ありがとうございました。帯広運輸支局様からもご意見等あればお伺いしたいと思います。笹治様いかがでしょうか。

(帯広運輸支局 笹治主席運輸企画専門官)

帯広厚生病院の件に関しましては、今年の11月からということ聞いております。

厚生病院の利用に伴うバス路線の移転の留意点になりますが、バスを走らせるには最低でも2ヶ月の期間をおいて事業計画の届出が必要になります。11月ということになりますから、少なくともその前2ヶ月までには必要性がありまして、そのためには道路管理者ですとか、交通安全上、警察からも意見を聞きながら進めていくことになっております。

また、申請がされると思われる道路が不安定なところがあって、こういった形になるかはっきりしていないという中では、なかなか申請ができないという状況になっておりますので、例えば、病院の前の通りに停めるのか、あるいは病院構内にバス停が置ける状態になっているのかどうかという点については、関係者から情報をキャッチしていただき、進めていただきたいと思います。

今回、資料8にありますように、複数の系統が病院に入っていく予定となっておりますので、利用者の方々の利便の点については、ある程度確保されるのではないかといたるところですが、病院の構内へ複数系統が入ってきた場合に、きちんと止められるスペースが確保されるのかどうかといった点も問題になるかと思えます。また、病院になると起終点という形の置き方がなかなか難しくなるかと思われまして、できないではないでしょうけれども、そこに停留できる時間がどれくらいなのかとか、あるいは周りの交通の妨げにならないように、また、当然歩行者もいらっしゃるということになりますから、その辺も含めて検討していただきたいと思います。

また、全系統がこちらを目指していくということは難しいところがあるかと思えますので、ある程度の乗り換えということを考慮した中で進めていく必要がありますけれども、乗り継ぎの際にも、乗り継ぎの時刻ですとか、乗り場所といった点について周知も必要と考えます。

それと、拓殖バスさんのほうなんですけれども…。

(北海道拓殖バス 小森部長)

厚生病院ですか。厚生病院には今のところ入らないです。

(帯広運輸支局 笹治主席運輸企画専門官)

そうですか。

ある程度の時間がかかる中での話になりますので、警察の交通上の問題ですとか、そういったものがクリアされて初めてバスが通れるということになりますので、きちんと整理された中で、引き続き関係機関と協議を進めていただきたいと思いますというふうに思っております。

(相澤会長)

ありがとうございます。他に帯広厚生病院の移転に伴う路線変更につきまして、ご意見、ご質問等はございますか。

《意見・質問なし》

よろしいですか。それでは、この件は以上と致します。

11月の路線見直しに関してまは、バス事業者様を中心に十分に検討を重ねた上で、手続きを進めていただきますようお願いいたします。

それでは、このほかの事業の推進案について、引き続き事務局より説明いたします。

(事務局)

それでは、引き続き平成30年度の施策推進案について、説明させていただきます。資料8 2ページ目をご覧ください。

基本方針（１）について、路線・ダイヤ見直しのほか、記載のとおり３項目の施策について実施いたします。

「３ バス待合環境の改善」について、十勝バス様において、７月頃を目途に、イオン帯広店内のバス待合スペースへのデジタルサイネージの設置や、バスロケーションシステムの導入を進めるほか、広告会社と連携し、記載のバス停留所３か所への上屋設置を予定しています。

また、「４ ICカードシステム導入に向けた実証試験」は、本年５月２１日より、定額運賃路線である「西地区コミュニティバス」においてWAONカードを利用した実証試験を開始しており、５月末までに１０数件の利用があったところです。また、１０月には、多区間運賃路線における実証試験を実施予定となっています。

次に、基本方針（２）「生活と交通の拠点整備」に係る施策につきましては、記載のとおり、乗り継ぎ拠点の整備、市街地へのデマンド型交通の導入、多様な移動手段との連携について、引き続き情報収集及び検討をまいりたいと考えております。

次に、基本方針（３）「市民だけでなく、来街者にも分かりやすい情報提供」に関する施策として、引き続き、バスロケーションシステム「PINA」や乗り換え情報案内アプリ「もくいく」の普及や更なる利便性の向上に取り組むほか、協議会事業として新たな「おびひろバスマップ」の作成・市内全戸配布や、バス事業者様において、より分かりやすい時刻表の作成を行う予定です。

また、「４ 情報提供機能の充実」として、「バスターミナルおびくる」に設置しているデジタルサイネージを活用した各種情報提供を実施するほか、７月には、利用者からの目的地やバスの行き先などに関する質問に回答する「AI 窓口」の開設を予定しており、主にインバウンド観光客向けの情報提供を充実させる予定となっております。

最後に、基本方針（４）「利用促進施策の推進」として、引き続き小学生から高齢者まで、出前講座やモビリティ・マネジメントツールの配布を通じた利用促進を図ってまいります。

平成 30 年度の施策の推進案について、事務局からは以上でございます。

（相澤会長）

ただ今の説明につきまして、バス事業者様から補足事項などございましたら、お願いいたします。

（十勝バス 長沢本部長）

特に冬期間の待合環境が非常に劣悪な状況にあるので、中々上屋ですとか囲いのあるものを用意するのは難しく、広告会社の広告収入で、３か所整備を進めています。

あとは、イオン様・マックスバリュ様の店舗内で自由に休めるような形にはなっていますが、バス停にも店舗内で休めることの告知シールを貼らせてもらえないかと話を進めているところです。待っている方が、より中に入って休みやすい環境にしたいと考えています。

ICカードはここに書いてある通りです。あとは、情報提供にはわかりやすさが一番重要だと考えておりますので、厚生病院の移転に伴うダイヤ改正に合わせて時刻表の全面的な見直しを行う予定でございます。

外国人対応については、順次年度計画に基づいて、国の補助金などを活用しながらバス停の英語表記ですとか、案内板の英語案内を整備していく予定です。以上です。

（相澤会長）

小森部長はいかがですか。

(北海道拓殖バス 小森部長)

「バスターミナルおびくる」が新しく開設され、そこにデジタルサイネージとか色々設置させていただいているんですけども、お客様にとってどのように表現するのが一番わかりやすいのかというのが、バス会社として案を出してはいるところですが、まだまだお客様目線の、こういったほうが見やすいですね、とかいう声を聞きながらしっかりと作り上げていきたいなと思っておりますので、そういった情報を集めながら取り組んでいきたいなと思っております。以上です。

(相澤会長)

ありがとうございます。

AI 窓口がありますが、どんなイメージになるのでしょうか。

(十勝バス 長沢本部長)

AI 窓口は、インバウンドだけではなく観光客の方も、帯広に初めて来た方が、どこへ行きたいということに、窓口でも当然お答えできるんですけども、外国人の方だと言葉の壁もあるので、例えば「然別湖に行きたい」とモニターに英語でしゃべっていただくと、モニターに「何時何分の何行きのバスに乗ればいいですよ」と表示されるというもので、簡単に言えば、行きたい場所にご案内できるものです。プラスアルファで、市内のある店に行きたいというものにも答えていくんですが、AI なので覚えさせていくとか、育てていくということが必要みたいなので、多分7月1オープン時にはまだ頭がよろしくないというところもあるのかなと思いますけれども、順次答えられなかった部分を答えられるようにしていくと、また、キャラクターみたいなものも表示させて皆で育てていきましょう、というような形で準備を進めているところです。

ただ、声を出して言いづらいという部分もあるので、タッチ式で文字を打ち込んでいくということも考えていまして、外国人でない方にも自由に使っていただければと思います。AI が答えられない場合は、「窓口に行ってください」と形で誘導するイメージで考えています。いずれにしても初めてのことでありますので、どんなものができるのかな、というところです。

(相澤会長)

ありがとうございます。ただ今の件に関しまして、ご意見、ご質問等はございますでしょうか。

《意見・質問なし》

特にご意見等無いようですので、本案についてご異議がなければ、承認としてよろしいでしょうか。

《意義なし》

ありがとうございます。ご異議がないようですので、帯広市地域公共交通網形成計画に基づく事業の実施内容及び推進の方向性について、ただ今のとおりとさせていただきます。

次に、平成30年度の本協議会で実施する事業の事業計画及び収支予算について、事務局より説明いたします。

(事務局)

それでは、平成30年度事業計画(案)について説明させていただきます。資料9をご覧ください。

平成 30 年度、本協議会の予算を伴う事業は、「リニューアル版おびひろバスマップの作成・配布」、「モビリティ・マネジメント施策の展開」の 2 つとなります。

「リニューアル版おびひろバスマップの作成・配布」につきまして、昨年度更新したバスマップの内容から、11 月の路線見直しを反映させるとともに、デザインやレイアウト等を一新した、市民の皆様はもとより、観光客、来街者の皆様にも分かりやすい内容のものを作成したいと考えております。

「モビリティ・マネジメント」につきましては、昨年度に引き続き、中高生及び転入者向けのバス利用促進ツールである小冊子の作成、配布を実施したいと考えております。作成にあたっては、内容を精査し、よりバス利用の促進につながる情報を掲載したいと考えております。

平成 30 年度事業計画（案）については、以上でございます。

続きまして、平成 30 年度収支予算書（案）についてご説明いたします。
資料 10 をご覧ください。

《資料 10 のとおり説明》

以上、事業計画、収支予算書につきまして、ご承認をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

(相澤会長)

ただ今の説明について、ご意見、ご質問等はございますか。

《意見・質問なし》

ご意見等ないようですので、平成 30 年度事業計画及び収支予算について、本案のとおりとさせていただきます。

ご用意した議案につきまして終了いたしました。全体を通して、ご意見等ございませんか。

《意見・質問なし》

よろしいですか。事務局から、連絡事項等ありますか。

(事務局)

連絡事項といたしまして、厚生病院の移転に係る平成 30 年度の路線見直しについて、結果が出ましたら、情報提供をさせていただきたいと考えております。以上です。

(相澤会長)

その他ございますか。

(高齢者福祉課 五十嵐課長)

高齢者福祉課の五十嵐と申します。いつもお世話になっております。この場をお借りいたしましてご協力のお願いです。

高齢者福祉課では、高齢者が地域で生活を継続していくための色々な課題に対しまして、解決策等を検討するための「帯広市ネットワーク会議」というものを設立しております。医療や介護に関すること、認知症に関することなど、課題別に 4 つのネットワー

ク会議を設置しておりますが、高齢者の移動手段などの課題について検討する場といたしましては、生活支援、介護予防ネットワーク会議という会議を設けております。

現在参画いただいているのは、町内会・老人会など、地域の方々が中心で課題の共有を行っている状況でございます。今後、課題を解決するための具体的な検討を行うために、課題に応じた関係課や、関係機関の方々に会議への参画をお願いしていきたいと考えてございます。時期は未定ではございますが、商業まちづくり課とも相談しながら、進めていきたいと考えておりますので、今後お声がけをさせていただいた際には、是非ご協力をお願いいたします。以上です。

(相澤会長)

その他、連絡事項等、もしくはご意見等ございませんか。

《意見・質問なし》

3. 閉会

(相澤会長)

それでは、以上をもちまして、平成 30 年度第 1 回帯広市地域公共交通活性化協議会を終了いたします。ありがとうございました。